

2011年3月24日

	もともとの発生率または報告数:地域(1)、全国(2)	ワクチン接種率:地域(1)、全国(2)	地域・避難所で流行する可能性 1 = 低; 2 = 中; 3 = 高	公衆衛生上の重要性(罹患率・死亡率・社会的) 1 = 低; 2 = 中; 3 = 高	リスク評価 1 = 低リスク; 2 = 中リスク; 3 = 高リスク	コメント
水系/食品媒介感染症						
急性下痢症			3	2	3	ノロウイルス感染症、ロタウイルス感染症を含む
細菌性腸管感染症(サルモネラ、キャンピロバクター、病原性大腸菌など)			2	2	2	
A型肝炎			1	2	1	
E型肝炎			1	2	1	
動物/昆虫/ダニ媒介感染症						
レプトスピラ症			1	2	1	淡水、土壌曝露時に発症しうる
ツツガムシ病			2	2	2	春～初夏と秋～初冬の2回ピークがある 野外活動に伴って感染し、福島県ではこの3月の発症例が報告されている
過密状態に伴う感染症						
急性呼吸器感染症			3	2	3	RSウイルス感染症、パラインフルエンザ感染症を含む
インフルエンザ/インフルエンザ様疾患			3	3	3	避難所での発生が報告されている
結核**			2	2	2	
ワクチンで防ぐことのできる感染症						
麻疹			2	3	3	
風疹			2	2	2	
ムンプス			2	2	2	
水痘			2	2	2	
破傷風*			2	3	3	外傷後、土壌曝露後に発症しうる 震災による外傷後の発症例が報告されている
百日咳			2	2	2	
皮膚感染症						
疥癬			1	2	1	
白癬などの真菌感染症			2	1	1	
その他						
血液媒介疾患(B型肝炎/C型肝炎/HIV)*			1	2	1	体液曝露時に感染しうる
レジオネラ症			2	2	2	津波被災後の発症例が報告されている
創傷関連感染症*			2	2	2	
細菌性髄膜炎、ウイルス性髄膜炎			1	2	1	

*救助隊においてもリスクが高い

**急性期以降に問題となりうる

(注)ビブリオ・バルニフィカス感染症、エロモナス感染症は水曝露後に発症しうるが、潜伏期間が通常2日以内であることをふまえ、現時点で公衆衛生上のリスクは極めて低いと判断し評価表から削除した